

令和6年度成田市学力調査の結果について【中学1年生】

【成田市学力調査・実施概要】

- 1 実施日 令和6年12月4日・5日
- 2 実施教科 国語、数学、理科、社会、英語

なお、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意願います。

※本調査における全国(国)とは、国内の全小中学校のうち、本市と同じ問題を実施した児童生徒の平均正答率を示します。

2 教科ごとの状況

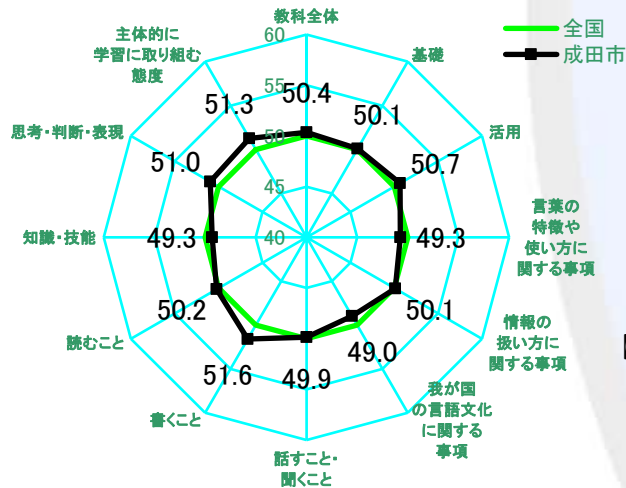
(1) 国語（全国の正答率を50とした相対値）

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
5 (3)	文章を読んで理解したことに基 いて、自分の考えを確かなもの にしている。＜文学的な文章の内容を 読み取る＞	56.4	53.4
7 ②	2段落構成で文章を書いている。	65.5	57.1
④	自分の考えを明確にして書い ている。＜文章を書く＞	62.9	54.1

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
3 (2)	漢字の部首について理解している。	35.8	43.6
(4)	ことわざについて理解している。 ＜文法・語句に関する事項＞	39.7	46.3



【国語・力を入れた学習】

漢字を学習する時、「部首」にも目を向けると、未習の漢字に対しておおよその意味や読み方を類推できるようになります。また、ことわざや慣用句、故事成語などの意味を理解すると、伝え合う力が高まります。多くの言葉を身に付けるために、新しい言葉に出会った時は、意味を調べたり、短文作りなどを行ったりすることが有効です。

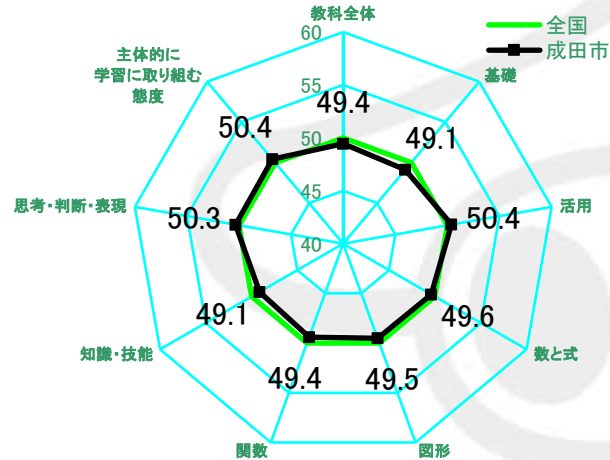
(2) 数学（全国の正答率を50とした相対値）

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
8	比例式を解くことができる。 ＜1次方程式＞	71.6	65.4
15	三角形を回転移動させたときの図 形を方眼紙を利用して作図するこ とができる。＜平面図形＞	52.8	48.9

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
3	素因数分解ができる。 ＜正の数、負の数＞	64.2	73.4
11 (2)	反比例の関係にある1組のxと yの値から、yをxの式で表すこ とができる。＜比例・反比例＞	41.6	48.2



【数学・力を入れた学習】

「素因数分解」は、素数だけの積で表された形になります。学習の基礎となる知識なので、たくさん問題を解いて慣れ親しみましょう。比例・反比例では、2つの数量の関係を表、式、グラフで表すことができるようにするためには、表から式、式からグラフ、グラフから式、どの視点からでも関係を表せることが大切です。

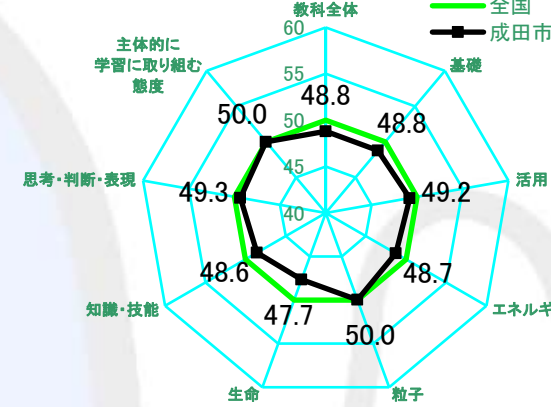
(3) 理科（全国の正答率を50とした相対値）

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
4 (3)	有機物の特徴を理解している。 ＜身のまわりの物質とその性質＞	71.1	68.6
5 (1)	気体の集め方を理解している。 ＜気体の性質＞	84.2	80.6

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
1 (2)	種子のもとになるつくりを理解 している。＜植物の分類＞	21.8	32.6
3 (1)	セキツイ動物の特徴を理解してい る。＜動物の分類＞	67.7	80.4



【理科・力を入れた学習】

花のつくりとはたらきを、各部分の名称と関連付けて学習しましょう。また、既習の知識をしっかりと整理し、関連する事象や、類似・対比できるものと紐づけながら学習することが大切です。

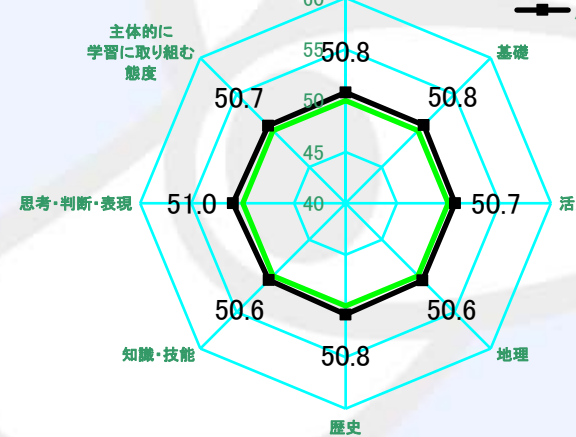
(4) 社会〔地理〕〔歴史〕（全国の正答率を50とした相対値）

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
3 (4)	標高が高い地域に住む人々の暮ら しについて理解している。 ＜世界各地の人々の生活と環境＞	57.4	50.0
5 (3)	竪穴住居について理解している。 ＜古墳時代まで＞	93.2	90.3

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
2 (1)①	北方領土について理解してい る。＜日本の姿＞	49.4	57.0
5 (1)	世紀の表し方について理解して いる。＜古墳時代まで＞	41.3	46.4



【社会・力を入れた学習】

地理的分野については、竹島や北方領土、尖閣諸島についての基本的な知識を身につけ、領土問題についても地理的な特色から説明できるようにしましょう。歴史分野については、日本と東アジアの繋がりの影響について理解することが大切です。

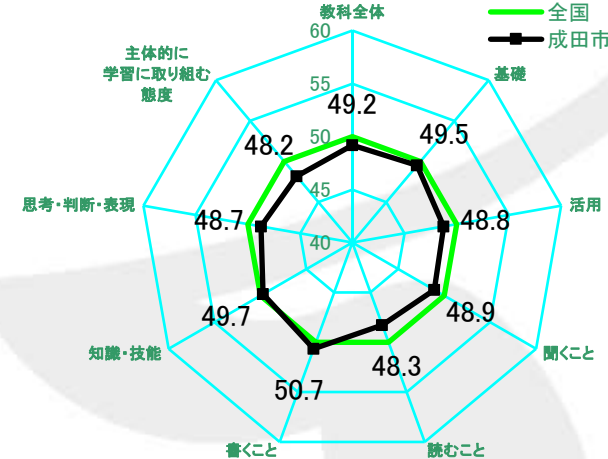
(5) 英語（全国の正答率を50とした相対値）

【全国と比較し、概ね良好な結果が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
5 (1)③	対話文を読み、文構造や文法事項を 理解している。（疑問詞 which） ＜語形・語法の知識・理解＞	83.5	65.3
8 (1)	文の語順を理解し、正確に書いている。 （否定の命令文） ＜単語の並べかえによる英作文＞	66.7	41.2

【全国と比較し、課題が見られた出題例】

番号	出題内容	市(%)	国(%)
5 (1)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解 している。（人称代名詞（主格））	51.0	71.3
①②	対話文を読み、文構造や文法事項を理解 している。（主語が複数の場合の一般動 詞の疑問文）＜語形・語法の知識・理解＞	17.4	50.2



【英語・力を入れた学習】

日常的な「聞くこと」、「話すこと」の積み重ねを引き続き大切にしていましょう。英語を聞く際には、何を聞かれているか（What, which などの疑問詞）や、誰について話しているか、前置詞などに気を付けて聞きましょう。話す際には、主語（I, You, He/She など）によって動詞がどう変化をするのか意識してみましょう。デジタル教科書を活用し授業以外でも英語に触れる機会を設けてみるとよいでしょう。